

海のルール厳守徹底について

令和4年6月6日

ライフセービング関係者各位

東浜マリンスポーツ協会
西浜サーフライフセービングクラブ

当然のことながら海はライフセーバーだけではなく、ウィンドサーフィン、サーフィン、SUP、ダイビング、釣り、漁師や船舶免許講習等、様々な携わり方をしている方々があります。それでもお互いがお互いのフィールドを理解し活動を尊敬し合うことで共栄、共存できています。

しかし一部のライフセーバーが、再三の注意にも関わらずローカルルールを守らず、地元に変な迷惑をかけている状況が長年報告されています。

西浜サーフライフセービングクラブにも多方面から毎年同様のご指摘を頂戴し、県協会、JLAを通じてローカルルールを告知していますが、周知されない状況です。地元から信頼の無いライフセーバーはこのままでは夏の監視活動もできなくなってしまいます。

ちなみにルール違反を繰り返しているのは西浜 SLSC 以外のメンバーのようです。

海に対して、利用者に対して、謙虚な気持ちで海に入ることを忘れないでください。

○安全の為、『レスキュー練習、パドル練習』以外は必ずリーシュを着用して下さい
(波を横に乗る際は特に注意)

○ボードを離してしまうとリーシュの長さだけボードは流れてしまいます。進行方向の先に他のマリンスポーツが活動している時や、波打ち際で子どもが遊んでいる際は、ボードが流れないようにストラップを掴んでボードをコントロールしてください。

○ライフセーバー初心者でボードコントロール出来ない場合は、必ず指導者がそばに着いて接触事故を未然に防ぐよう、安全に配慮しながら指導してください。

○片瀬東浜公共トイレ～ビルヌーブ片瀬江ノ島迄はスクールゾーンなので器材を置かず、可能な限り江ノ島大橋方面で、人やヨット等が少ない場所を選んで練習して下さい。
(写真・図参照)

○海上においては接触事故を防ぐため、他のマリンスポーツ(ウィンドサーフィン、SUP、ヨット等)の特性を考慮して、互いに距離をとったり、進行方向に配慮して活動しましょう。

○波打ち際においては、他のマリンスポーツに配慮して、妨げにならない様に練習してください。

○万が一ボードが他人に接触したら、怪我をしていないか確認し謝罪を必ずする。

当然のことばかりですが知らないライフセーバーがでないように周知よろしくをお願いします。

守れていないライフセーバーへは所属大学、地域クラブを通じて厳重に対応させていただきます。

写真（江ノ島側からヴィルヌーブ片瀬江ノ島を撮影）



図

